

令和7年度 第1回 南丹市多文化共生推進委員会 議事録

日 時：令和7年8月4日（火）午後3時00分～午後4時20分

場 所：南丹市役所 3号庁舎 2階 第4会議室

1 はじめ

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>定刻になりましたので、ただ今から南丹市多文化共生推進委員会を開会いたします。委員のみなさまには、お忙しいなか、ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、委員会を始めるにあたり、南丹市多文化共生推進委員会の設置について、事務局からご説明させていただきます。</p> |
| 事務局 | <p>それでは南丹市多文化共生推進委員会の設置について、ご説明させていただきます。</p> <p>南丹市では年々、外国人数が増加しており、</p> <p>■2020年7月末時点 全体人口：31,234人 外国人数：373人（人口全体の約1.2%）</p> <p>■2025年7月末時点 全体人口：29,247人 外国人数：686人（人口全体の約2.3%）</p> <p>と、この5年間で約300人増加している状況です。</p> <p>国籍や文化など、それぞれが持つルーツは様々ですが、市内に住む外国人の方が地域の一員として、お互いが安心して暮らせるよう、多文化共生をより一層推進していく必要があります。その取り組みの一つとして、今年度より、「多文化共生推進委員会」を実施することとなりました。</p> <p>本委員会では、様々な立場の方にご参加いただき、外国人の方の暮らしに関する現状や課題について、様々な視点から、共に考え、話し合う場としたいと考えております。また、本委員会でお話いただいた内容を、市役所の各課が集まり、共有・検討する場として、「多文化共生庁内推進委員会」を併せて設置します。本日お話いただいた内容についても、庁内推進委員会で共有し、市の多文化共生施策について検討したいと思いますので、様々なご意見をいただければと思います。</p> <p>ここまでの説明は少し固い内容になりましたが、ここからは、やさしい日本語をみなさまにも意識していただき、委員会を進めたいと思います。やさしい日本語とは、阪神淡路大震災をきっかけに、日本語に不慣れな外国人にもわかりやすく情報を発信することを目的に考え出された、簡単でわかりやすい日本語のことです。ぜひやさしい日本語を意識して、お話しいただければと思います。</p> |
| 事務局 | <p>それでは、最初に委員のみなさまをご紹介しますので、お名前の後、</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>簡単に一言ずつご挨拶いただければと思います。</p> <p>(委員+事務局自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。委員の任期については、本日から2027年3月31日までとなります。約2年間お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本委員会は法定の協議会でないため、委員の定数が決まっておりません。今後、委員会を進めるなかで、みなさまからご意見いただければ、必要に応じて、新たに委員として就任いただくことも検討しておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず、委員のみなさまのなかから委員長・副委員長を決めたいと思いますので、ご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> |
|--|---|

2 委員長・副委員長の選出について

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>審議いただきありがとうございました。</p> <p>それでは、委員長から一言ご挨拶をお願いいたします。</p> |
| 委員長 | <p>この委員会では、多文化共生ということで、「外国人」に特化していますが、外国人に限らず、誰もが暮らしやすい南丹市というのが、目指すべきところだと思います。この委員会の場を十分に活かし、進めていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。</p> <p>では、続いて、意見交換に進めさせていただきます。</p> |

3 意見交換

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>今日、みなさまには、2点についてお話しいただければと思います。</p> <p>1つ目が、「外国人とのつながりと難しいと思うこと」についてです。普段の暮らし、活動、仕事で外国人の方とどのようなつながりがあるか、また、関わるなかで難しいことや、課題と思うことをお話しいただければと思います。資料は、市役所において外国人の方との関わりや課題と感ずることをまとめていますので、ご覧ください。</p> <p>2つ目が、「やさしい日本語」研修会についてです。南丹市では、毎年、「やさしい日本語」研修会を実施しており、今年も10月から11月ごろに行う予定です。資料として、去年行った研修会のチラシを配布しています。この研修会では、どのように工夫をすれば外国人の方に伝わりやすいのか、やさしい日本語の基礎や使い方を学ぶ内容となっています。特に、日常生活や業務で外国人の方と関わる方にご参加いただきたいと思いますと考えています。研修会で学んでみたい内容やこんな研修会であれば参加したいなど、ご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> |
|-----|--|

■外国人とのつながりと難しいと思うこと

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>仕事の関係で日本語学校の事業者と関わった中で、多くの外国人が「日本語が難しい」と思っていることをお聞きしました。日本語が難しいという部分もあります</p> |
|----|--|

| | |
|----|---|
| | <p>が、我々自身が、もっとわかりやすい日本語を使うことやわかりやすく日本語を示していくことが大事だと感じました。</p> <p>また、日本に様々な外国人がいるなかで、実際にその地域に生活をしている外国人の生の声はとても貴重だと考えます。</p> <p>南丹市では、人口が減っているなか、外国人の労働力がないと成立しない事業者が増えています。そのなかで、事業者が衰退すると、南丹市の産業的な縮小だけではなく、外国人の仕事もなくなってしまいます。事業者も外国人と共存していかなければならないと感じています。</p> |
| 委員 | <p>外国人の従業員と日本語でやり取りしていますが、ゆっくりと話せば通じるので、言葉の壁を感じることはあまりありません。ですが、交通ルールをはじめ、日本のルールがなかなか覚えられない部分があります。生まれ育った環境からすぐに適応することは難しいと思うので、繰り返し伝えていく必要があると考えています。</p> <p>外国人の従業員には、南丹市で暮らす中で、地域のつながりを大切にして、成長してほしいと考えています。実際に地元のお祭りを通して地域の人との関わりが増えています。企業としては、外国人の方々がいないと成り立たないと自覚しているため、外国人との共生を真剣に取り組んでいきたいと考えています。</p> |
| 委員 | <p>外国人が日本語のコミュニケーションが弱いことは、日本人の責任だと考えています。当団体で日本語教室を実施していますが、「日本語を教える」という思いより、「お手伝いをする」という気持ちをもって運営しています。</p> <p>日本にいてよかった、南丹市でよかった、と思ってほしいと考えていますし、少しでも充実した生活が送れるよう、お手伝いができたらと思い活動しています。</p> |
| 委員 | <p>私が所属する団体では、長く南丹市で暮らしていくであろう方に、南丹市で暮らしたい、子育てしたいと思ってもらえるよう活動をしています。子どもがいるなど、より深く地域とのかかわりを持って南丹市で暮らしていく外国人が、何か困ったときや一息つきたいときの拠り所になれる活動をしたいと考えています。</p> <p>活動をしている中で、運転免許や受験など、一步踏み込んだ内容についても相談を受けています。</p> <p>また、外国人の保護者から、就学前に子どもたちが日本語を学べるような場がほしいという相談を受けて、昨年から週に1回、子どもたちが楽しく日本語を学べる教室を始めました。そういった要望を形にしていくという取り組みを行っています。</p> <p>最近では、活動が市民の方に少しずつ伝わっていると感じ、やっと市民の方とのつながりが出てきたと感じています。そのようなつながりを、この会議を通して、もっと増やしていきたいと考えています。</p> |
| 委員 | <p>こちらで働いている外国人のなかで、結婚や出産をされる外国人が増えています。母国で出産をした後は、様々な形でこちらに戻ってきてはいますが、そのなかで、一緒に日本に来た子どもについて不安を感じています。</p> <p>働くために子どもを保育所に預けることになりますが、保育所ではどのように対応されるのか、また、会社としてもどう対応していけばよいのかがわかりません。</p> |
| 委員 | <p>すでに南丹市では、両親ともに外国人の親を持つ子どもは少なくとも8名おり、亀岡市でも増加しています。亀岡市ではすでに対応が始まっており、体制は整ってきています。また、南丹市内でも外国人の子どもが幼稚園や小学校、中学校に通っているため、少しずつ体制が整えられてきているのかなと思います。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>南丹市の小学校では、外国籍の子どもは何人かいると聞いていますが、個別の対応で概ねサポートできているようです。学校現場も課題が出る度に、色々な方法を考え、積み重ねていきながら、対応にあたっているようです。</p> |
| 委員 | <p>初めて日本に来たときは、日本語があまりわからなかったです。子育てについても、日本人の両親と考え方が違い困りました。幼稚園で会う方々は親切でうれしかったです。自分の子どもが遊ぶときに、日本人と違うという部分を考えてしまい、遠慮をしていました。</p> <p>受験については、どんなふうに学校の試験をするのかがわからないので困っています。</p> <p>入院をするときには、漢字がわからなかったのも、フリガナや平仮名がかいてあればいいのになと思いました。</p> |
| 委員 | <p>病院で最初に書く問診票は内容も難しく、やっと書けたと思ったら、受診先の窓口でさらに書類の記入が求められます。外国人の方に限らず、高齢の方にとっても、大きな負担になっていると感じます。</p> |
| 委員 | <p>専門病院のため、どうしても質問項目が増えてしまいますが、同じことを何度も聞くのは良くないため、病院内で共有し、改善したいと考えます。</p> <p>病院でも外国人との言葉の壁を感じています。ポケトークを使っていますが、ニュアンス的なものを伝えるのは難しいです。医者の方々は、英語はできる方がいますが、どうしても専門用語などは伝わりにくいです。</p> <p>指さしのボードやイラストを使って説明するなど、やさしい仕組みづくりを目指したいと思います。</p> <p>また、附属の専門学校では、学生と地域の方との交流に力を入れています。個々の地域とのつながりが深まり、学生に長くこの地域に働こうと思ってもらえるからです。その他、市内の学校でも、所属する外国人が増加しているとお聞きしています。いかに学生に地域に定着してもらおうかについては、外国人の課題にもつながるのではないかと考えます。</p> |
| 委員 | <p>私自身、外国人が南丹市内にそんなに沢山おられることを知らなかったため、どのように関わったらよいのかわかりません。</p> <p>私が所属する団体では、外国人との課題は挙げたことがなく、小中学校との交流会でも、話題になったことがないです。外国人と関わった時はどう接すればよいのか、何が課題となるのか、といったところから掘り起こしていかなければいけないと感じました。</p> |
| 委員 | <p>あるベトナム夫婦から、市営住宅への引っ越しの申請書の作成について相談があり、補助を行いました。その中で、委任状や納税証明書、現在住んでいる住居の間取り図など、外国人だけでは到底対応できない、複雑な書類の提出が求められました。申し込むことは権利の1つだと思います。支援は必要かと思いますが、外国人でもできるような申し込みの手続きにしてほしいと感じました。</p> |
| 委員 | <p>行政には、外国人だけではなく、日本人でも難しいと感じる手続きがあります。そういったものも、やさしい日本語と同じく、誰でもわかりやすい対応を進めていく必要があると感じています。</p> |
| 委員 | <p>今回の委員会では前向きな意見が多かったですが、今の外国人の問題だけではなく、昔から残る外国人の歴史の背景や生活について、学ぶことも必要ではないでし</p> |

| | |
|----|--|
| | ようか。 |
| 委員 | 多文化共生について考えるには、新しく日本に来た外国人（ニューカマー）だけではなく、昔に日本に来られた方（オールドカマー）のことも踏まえて進めていかないと、多文化共生の本質の部分について考えることはできないと考えています。 |
| 委員 | そういった多文化共生の根っことなる部分について考えていく必要があります、講習会やイベントを行うなど、人権の視点から根っことなる部分にスポットを当てていくのも必要だと考えます。 |

■「やさしい日本語研修会」について

| | |
|-----|--|
| 委員 | 昨年度の研修会の参加者数はどのくらいだったのですか。 |
| 事務局 | 10人未満でした。例年参加者数が少ないこともあり、広報の仕方を検討しています。特に、日常生活や業務のなかで外国人と関わりのある方に参加いただきたく、委員の方にもぜひ参加してほしいと考えています。 |
| 委員 | 学校や保育所、幼稚園はニーズがあると思いますし、関心も高まっていると感じます。そのような方に参加していただくには、日付や時間の調整が重要ではないでしょうか。 昨年度の開催時期では、学校は春休み期間に入り、次の年度への準備があるので、参加ができないと思います。また、学校では、水曜日の午後に会議が入るため、厳しいと感じます。土日は、出張扱いではなくなるため、避けるべきだと思います。10月は運動会もあるため、参加が難しいかもしれません。 |
| 委員 | 年度末は、企業にとっても忙しい時期のため、参加が難しいです。 昨年度はどういった案内をされていたのでしょうか。企業向けの広報はあったのでしょうか。 |
| 事務局 | 市のホームページやSNSなどで広報を行いました。企業の方に向けた広報としては、商工観光課の方で企業のメーリングリストがあり、過去には広報に使っていたようですが、前年度は恐らく活用できていなかったと思います。 今年度は、メーリングリストに加え、特定技能制度における協力確認書をご提出いただいている企業については、直接広報ができると考えています。 |
| 委員 | 過去に30～40人ほどの参加があったときは、メーリングリストを活用していたと思います。また、社協にもチラシを持ち込み、来ていただくよう呼びかけていました。業務時間中ということで、市の職員の方にも、各課から1名ずつほど参加いただいたように思います。 |
| 委員 | 企業からの参加を重視したいのですが、確実に企業へアプローチするにはどうすればよいのか考えています。企業の連携機関があれば確実に伝えられると考えています。 |
| 委員 | 京都労働基準協会に所属していますが、協会から定期的に講習会などのメールが届きます。外国人を雇用していない企業も所属していますが、協会を通じて、外国人の雇用を検討している企業から相談を受けています。この協会を通じた広報を行うことで、そういった企業の参加も見込めるのではないのでしょうか。 |
| 委員 | 研修会だけを開催するのではなく、他のイベントと合わせて行うことで、参加者の増加と交流や理解の深まりが期待できるのではないのでしょうか。 |
| 委員 | 病院としても、より多くの職員に、やさしい日本語を学んでもらいたいと考えて |

| | |
|--|--|
| | います。当日に現地で参加することが難しくても、研修会の録画などがいただければ、病院内でeラーニングとして受講してもらえると考えています。 |
|--|--|

4 おわり

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>本日は、ありがとうございました。本日のご意見を庁内推進委員会にも共有し、多文化共生に向けた取組みを進めてまいりたいと思います。</p> <p>なお、次の委員会は、年明け1月ごろを予定しています。ご多忙のところ恐縮ですが、ご出席いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、南丹市多文化共生推進委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> |
|-----|--|